

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年3月6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5園	(回答数) 5園
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 平均15年以上、障害児支援に携わっている職員が担当している。様々な状況のお子さんに対応でき、在籍園に対して、お子さんの状況への解釈や対応を丁寧に説明し、的確な支援へとつなげるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のスキルアップのため、研修参加を積極的に呼びかけている。職員同士、日頃からコミュニケーションをとるようにし、各ケースの相談がしやすい雰囲気になっている。 訪問担当の配置については、作業療法士、理学療法士が主となっており、肢体不自由児や摂食指導の必要な児に対して、具体的な介助方法などを伝え、在籍園の先生方が安心して保育ができるよう支援している。 専門職としての知識の他、調布市の地域資源や、当センターの事業をきちんと把握した後に、担当として訪問するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、研修への参加機会の情報提供を行なうことや、積極的に事例検討を実施できる雰囲気を作り出していく。 様々な事例から支援方法を学べるように、年に一度、全担当者間で訪問状況の共有の機会が設けられるようにする。また、子ども発達センターとして取り組んでいることも周知していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の別事業内での支援や経過も、担当間で共有し、連携しながら運営している。また事業所としては、管理者や児童発達支援管理責任者のみならず、庶務担当、係担当などが連携することにより、円滑な事業実施に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業説明や請求事務などを業務分担し、お互いに業務チェックをすることで、事業が滞りなく進められるようにしている。 相談事業や発達支援事業など他事業との連携により、子どもと保護者を包括的に支援するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体制維持を継続し、円滑な運営を目指す。

3	<ul style="list-style-type: none"> ご家族と在籍園が納得したうえで訪問実施ができるように、丁寧な説明を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先の体制や状況を確認し、当事業の受け入れが可能かどうかを園と相談している。また、実施の時期や頻度も確認するようにしている。 契約前に訪問先となる園に出向いて、事業概要を説明したり、対象のお子さんの様子を観察し、事業を利用した場合にできる支援の具体的な提案をするようにして、訪問支援のイメージが持てるようにしている。 保護者にも、契約時に観察時の様子をお伝えし、今後の目標と見通しを伝えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も訪問先の状況をふまえて、支援や介入のタイミングを検討していく。
---	--------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 訪問担当者は、施設内の他事業に携わっているため、情報共有の時間が取りづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員の勤務日や他事業との兼ね合いで情報共有する時間が確保されにくいいため、隙間の時間を使って担当同士でケースの情報共有に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 共有できるためのツールとして確立されたものがないため、今後検討していきたい。ケース情報以外の業務に関する共有事項については、書き込みができるノートを活用しているため、継続して連携に役立てていく。
2			
3			

事業所名 調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所

公表日 令和 8 年 3 月 30 日

利用児童数 5名

回答数 4名（集計時に1家庭が未回収）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 面談時において、プライバシーに配慮された環境が整えられていますか。	4	0	0	0		
	2 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	0	0	0		
	3 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	1	0	0	・相談というよりかは、既に決められた回数があるという認識です。 ・訪問頻度が月2回→1回に減ったが、本人も落ち着いてきたタイミングだったので良かったと思う。	
	4 支援全体を通して、関わる職員体制（職種や人数）は十分でしたか。	4	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0	工作や遊びでやりたいことをふまえながら対応いただいていると思います。	
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向も踏まえ、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	11 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	12 事業所では、家族に対しての支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	0	0	1		引き続き、館内ポスター掲示やメールでの配信などによって広報、周知していきます。
	13 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4	0	0	0		

保護者への説明等	14	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0	定期的に面談があり、現状の確認や、相談ができて良かった。	
	15	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	16	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制の整備がなされていると共に、事業所は迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	4	0	0	0	不安なことをお話すると、次回訪問時に重点的に見ていただけたので安心しました。	
	17	こどもと保護者との意思疎通や情報伝達のために、必要な配慮（筆談、声量の調整等）がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0	担任の先生も、先生（作業療法士）からのアドバイスを取り入れ、活動に活かしてくれていると感じていました。	
	19	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	20	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	0	0	0	訪問報告書をいただけることで、園での様子を知る事ができた。子の特性を言語化していただける事で他者に説明しやすくなり、大変助かります。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	1		昨年度、利用対象者にのみ公表のお知らせをしていたため、今回の対象者には周知できていませんでした。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所は、災害時の緊急対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	2		緊急時の対応については、施設側の対応に合わせて行動することになっています。契約時の説明を丁寧に行っています。
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	2		事業所の安全計画の説明を丁寧に行なっています。
	25	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4	0	0	0	・自宅で「〇〇さん（担当名）好き」「楽しい」とよく話しています。 ・先生の訪問をいつも楽しみにしていました。	
	26	事業所の支援に満足していますか。	4 27へ	0 ご意見へ	0 28へ	0 ご意見へ	「どちらでもない」「わからない」と答えた方 ・もう少し早く支援を受けたかったと思います。	

事業所名

公表日

令和 8 年 3 月 30 日

調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所

利用施設数 園 回収数 5 園

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見							ご意見を踏まえた対応	
				ご意見	ご意見を踏まえた対応							
1 訪問支援担当者からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものでしたか。	5		項目3へ 0									
2 右記の項目について、取りいれやすかったものを教えてください。（複数回答可）				こどもへの関わり方	環境設定	集団参加を促す工夫	食事のすすめ方	子どもの特性理解について	活動内容の設定	その他		
				5	1	2	1	3	1	0		
3 右記の項目について、取入れにくかったものを教えてください。（複数回答可）				こどもへの関わり方	環境設定	集団参加を促す工夫	食事のすすめ方	子どもの特性理解について	活動内容の設定	その他		
									1	特になし		

4	訪問支援担当者の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	0	0	こちらは専門知識がないため、教えていただいたこと全てが勉強になりました。体の発達に関しても、今までの他事業では教えていただいたことがないことを知ることができ、とてもありがたかったです。															
5	訪問支援担当者は、質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	0	0	質問したこと全てに丁寧に教えてくださり、とてもわかりやすかったです。															
6	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	0	0	とてもされました。															
7	事業所からの支援に満足していますか。	5	0	0	利用者の都合により支援を受ける回数が少なくなってしまいましたが、その少ない回数の中でも助言をいただいたことで子どもの成長がみられました。															
8	支援の前後において、個別支援計画に基づき、お子さんの成長発達の変化を、数値で表すとしたらいくつですか。																			
	支援前と支援後の比較 (例：支援前1⇒支援後9の場合、数値8)	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他、お気付きの点をご記入ください。(裏面もご活用ください)																				

A園

- ・対象児が大人の声掛けや援助を拒む姿が多く見られていたため、対象児との距離感や声掛け、促し方などすぐに実践できるようなことが多くあり、とても有意義な時間となりました。
- ・聞きたいことをその都度、丁寧に知らせて頂き助言があったため、訪問終了時間が過ぎてしまうことがあり、申し訳ありませんでした。
- ・四肢の動かし方や目線の動きなど学ぶことがたくさんあり、こちらの視野も広がったため今後はさらにこまやかな対応ができれば良いと感じました。少ない回数でしたがいつも丁寧に知らせて頂きありがとうございました。
- ・活動内容は事前に打ち合わせができたのでよかったですと思います。園として対象児との関わり方や環境設定などどのようにした方がいいのかをもっと知らせて頂いても大丈夫でした。
- ・センターの方から保護者に対してフィードバックがあったので、園からの伝達がスムーズだと感じました。

B園

訪問支援をして頂けてとても心強く感じておりました。

不明不安があっても先生が来て頂いた時にお聞きすれば良いという安心感がありました。

先生は、先ずこちらの話を聞いてくださり承認して頂けてからアドバイスをして下さったことで、職員も自身の考えや不安を話すことが出来ました。

ありがとうございました。

これからも先生から頂いたアドバイスを心にとめ、先生のような温かな視点を持ち子ども達が安心して過ごせるよう努めて行きます。

お世話になりました。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所

公表日 令和 8年 3月 30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
体制整備	1	訪問先において、教材教具を使用しましたか。	2 0	3 5		
	2	訪問先においての教材教具を、具体的にどの様に活用しましたか。また、使用時に工夫した点があれば教えてください。	具体的にご記入ください 姿勢保持のためのクッション類や、対象児に適した玩具教材を使用した。			
	3	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		業務改善する必要があったことについて、職員への聞き取りが不十分であった。
	6	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		事業所としての第三者評価が受けられていないため、引き続き実施可能であるかを検討する。
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
	9	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画を作成するには、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・フォーマルアセスメントは未実施 ・感覚プロファイル検査	引き続き、対象児の状況に合わせて評価方法の検討をする。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	不明なため	担当者が集まって情報共有する時間がとれていない。
	15	毎回の支援開始前までに、こどもに携わる職員間で、支援の内容や役割について、共通認識がもてているか。	5	0		
	16	訪問後には、携わる職員間で振り返りの報告を聞き、気づいた点を共有しているか。	4	1		児童発達支援管理責任者との共有や相談のみとなっている。共有場面の設定ができていない。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・ケースは該当せず、機会なし ・可能なかぎり、担当が出席している ・(お子さんを)より理解するために、事前に情報共有がされている	担当が出席できない場合がある。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・事業所として行っている ・支援シートの活用、引継ぎ	
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・就学時の面談や就学相談時に、訪問の時の記録を提出することがある。 ・不十分な印象	対象児によって、不十分なことがある。就学先別に、連携方法を検討する必要がある。

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加しているか。	5	0	・研修案内の周知がもっとできるとよい。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	3	2	・事業所として行っている。 ・担当ではないため参加していない。 ・市の正規職員が参加している	子ども発達センターとして取り組んでいることが、周知きれていない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・(館内) 掲示板での周知 ・研修の機会の提供 ・不十分な印象	24と同様
保護者等への説明等	27	運営規程,利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	・契約までに説明	契約時に訪問担当者が同席しない場合は、説明している内容が伝わっていない。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	・同意をいただく前に対面にて、担当者から概要説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重,こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・作成にあたって面談	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・当センターの事業も併用して行なう中で実施	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・親の会から協力をいただきながら交流の場を設定している。 ・事業所として行っている。担当ではないため参加はしていない。	24と同様
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談事業の職員への取りつぎ	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	・スクッピーだよりの発行 ・事業所として行っている。担当ではないため参加はしていない。	24と同様

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・研修受講や個人情報管理のための保管方法の徹底を行っている。	
	36	障害のある子どもや、保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか。	5	0		
訪問先施設への説明等	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	・毎回の振り返り	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	・可能なかぎり、毎回面談で報告	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・不十分な印象	訪問先のマニュアルに従って、初動をとるようにしている。訪問系事業所としての訓練は未実施であるため、回答が難しいと予想される。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・子ども発達センターとして作成したものを活用。安全マニュアルに関しては、訪問先の誘導に従っている。	41と同様
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	・共有はしているが、方策については周知しきれてはいない	事業所としてのヒヤリハットは確認されていない。子ども発達センター内でのものは共有のみにとどまっている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会に積極的に参加し、適切な対応をしているか。	5	0	・年1回以上の研修実施。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得ているか。	4	1	・園や保護者と姿勢保持の必要性を共有している。	

※「わからない」と回答したものは、「はい」・「いいえ」の数に含んでおりません